

# 第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子1回戦】 B球場(松山中央公園南) 第3試合 諫早附属中学校(長崎県) VS 倉賀野中学校(群馬県)

## 諫早高附属中 酷暑の乱打戦を制す!! 倉賀野中 大逆転も踏ん張り切れず!



＜諫早附属中 4回表、打者山口 ワイルドピッチで7点目を挙げる＞



＜倉賀野中 6回裏、松本大空が右越えに3塁打を放ち、サイクルヒットを達成する＞

平成26年8月19日(火)

13:38~16:27

球審:和田(永野) 一塁:高松 二塁:本田(佐賀) 三塁:緋

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
諫早附属中学校(長崎県)	2	2	1	10	0	3	0			18
倉賀野中学校(群馬県)	0	9	2	0	1	1	1			14

【バッテリー】 <先攻>(諫) ○吉田 祐人 - 白石 航也

<後攻>(倉) ●星野 大希, 藤田 慶樹 - 河野 博杜, 松本 晃貴

【長 打】 <本塁打> 松本 大空(倉)

<三塁打> 松本 大空(倉)

<二塁打> 松本 大空(倉)

### 【戦 評】

両チームともに投手陣が乱調。四死球、ワイルドピッチが非常に多い荒れた試合となった。諫早附属中は、1, 2回に相手の四死球と失策につけ込み、合わせて4点を先制する。

追う倉賀野中は2回、突如制球を乱した吉田に襲いかかり、無死満塁から遊ゴロ失策で1点を返し、なおも1死後、星野、藤田、金澤の3連続タイムリーで6-4と一気に逆転。続く4番河野は歩かされたが、5番松本大空が左越えに3点本塁打を放ち、9-4とリードを広げた。

しかし、倉賀野中の先発星野が立ち直れず再逆転を許すと、そのまま諫早附属中が押し切り、18-14の乱打戦を制した。

### 監督談

勝因は、9点を取られた後、投手が立ち直って最後まで投げ切ったこと。チーム内で、それぞれの持っている課題を克服しようと決めてがんばったが、克服することができなかった。次の試合では今日出た課題を修正し、よい試合をしたい。

### 主将談

勝因は、全員が最後まであきらめずがんばることができたことです。特に投手は大量失点後もコーナーを丁寧に突き、よく投げてくれました。次の試合では、部員それぞれの役割をしっかりと果たし、全力でがんばりたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!